

ポーランド政治・社会情勢

(2012年3月8日～14日)

平成 24 年(2012 年)3 月 16 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S	
<p>政治</p> <p>PO議員がカチンスキPiS党首らを国家法廷へ提訴 コモロフスキ大統領が年金制度改革は不可避と発言 オランド仏社会党大統領候補がポーランドを訪問 バグラム11演習の開始 ムロチェク国防副大臣が、「政府事故調査報告書の改善提案は軍の最優先事項」と発言 アフガニスタン派遣部隊兵士に対する裁判</p> <p>経済</p> <p>PGNiG社がグラジナ・ピオトロフスカ - オリヴァ氏を新CEOに選任 スポーツ・観光次官, サッカー欧州選手権後も外国人観光客増加を期待 サンデン社が工場を拡張 2012年欧州の魅力的な投資先でワルシャワが2位に ポーランド国債の販売が依然好調 ベルカ中銀総裁の政策金利据置に関する発言 ポーランド, EUの新たな排出削減目標を拒否 原子力コミッショナー, 原子力発電所は最高の安全基準に則して建設されると発言 大規模店舗の進出と小規模店舗の苦境 政府が「Go China」プログラムを開始 10年後にシヨパン・エアポート・シティが整備される見通し NGK社がディーゼル車排ガス浄化フィルター関連工場を新設</p> <p>社会</p> <p>大統領夫人が日本大使館レセプションに出席</p> <p>大使館からのお知らせ</p> <p>平成24年度分教科書の配付について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 FAX 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>	
<p>在ポーランド日本国大使館</p> <p>ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000</p> <p>http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>									

政	治
内	政

PO議員がカチンスキPiS党首らを国家法廷へ提訴【12日】

12日、グルピンスキ「市民プラットフォーム」(PO)議員(PO議員団長)は、民間ラジオ番組の中で、カチンスキ「法と正義」(PiS)党首(前首相)とジョブプロ欧州議員(元法務相)を国家法廷に提訴するため準備していると発言。本件は、バルバラ・ブリダ元民主左翼連合(SLD)議員が自殺した事件(PiS政権下の2007年4月、石炭業界をめぐる汚職への関与を疑われ、公安庁の捜査を受けていた同議員(当時建設相)が自宅捜索中に自殺した事件)に関する、SL

Dの政治的なイニシアティブに同調したもの。

コモロフスキ大統領が年金制度改革は不可避と発言【14日】

14日、コモロフスキ大統領は、同大統領主催による年金問題に関する社会協議を行い、トウスク首相が推進する年金制度改革(年金支給年齢を男女67歳まで引き上げる改革)に賛同し、同制度改革は不可避であると発言。同日、ワルシャワ市内で、カチンスキPiS党首は、同改革に対する反対集会を実施。

外	交
---	---

オランド仏社会党大統領候補がポーランドを訪問【9日】

9日、オランド仏社会党大統領候補がポーランドを訪問し、コモロフスキ大統領と会談。二国間関係、欧州統合に関する問題及びワイマール・トライアングル協力について意見交換した。

改善提案は軍の最優先事項」と発言【14日】

14日、ムロチェク国防副大臣は、上院国防委員会に出席し、昨年夏に発表された政府専用機墜落事故に関する政府事故調査最終報告書に示された改善提案の実行は、軍の最優先事項であると発言。国防省によると全44項目の改善提案の内、現時点で実行されたものは10件で、5件は実行中。

バグラム11演習の開始【11日】

11~14日の間、バグラム11演習がキエルツェのPKO訓練センターで行われた。同指揮所演習は、第11次アフガニスタン派遣部隊要員に対する訓練の総仕上げ。昨年帰国した第9次隊の要員も参加し自らの経験を教示。

アフガニスタン派遣部隊兵士に対する裁判【14日】

14日、最高裁判所に於いて、2007年にアフガニスタンで発生した住民殺害事件に関する裁判が行われ、3名のポーランド兵士に対し無罪が言い渡されたが、残る4人の兵士は再審となった。4年4ヶ月に渡る裁判はさらに継続される。

ムロチェク国防副大臣が、「政府事故調査報告書の

経	済
---	---

PGNiG社がグラジナ・ピオトルフスカ - オリヴァ氏を新CEOに選任【8日】

PGNiG社の経営監視委員会は、グラジナ・ピオトルフスカ - オリヴァ氏を同社の新CEOに選任。任期は2014年3月13日まで。同氏はPKNオルレン社で販売を担当する経営委員会のメンバーだった。PGNiGのCEOとしての同氏の主要な課題は、ガスの自由化プログラムにおける同社の利益保護及び投資プログラムの実行。2012年は50億ズロチの投資が予定されており、ヒンツ副社長によれば、3ヵ月後にPGE社、タウロン社、KGHM社との間でシェールガス開発における協力の詳細について合意しなくてはならない。

で開かれた国際旅行博において、サッカー欧州選手権開催により国内への観光客数増加が見込まれると発言。また、シミュツケ・ポーランド政府観光局長は、「100万人の観光客が欧州選手権のために訪れることを期待しており、選手権後も引き続き多くのサッカーファンが魅力的な観光地であるポーランドを訪れてくれることを期待している」と発言。なお、昨年のポーランドへの外国人観光客数は1,320万人で2010年より5%上昇、ドイツからの観光客が最大で、460万人となっている。

スポーツ・観光次官、サッカー欧州選手権後も外国人観光客増加を期待【8日】

ソビエライスカ・スポーツ観光省次官は、ベルリン

サンデン社が工場を拡張【8日】

サンデン・マニュファクチャリング・ポルスカ社(自動車向けエアコン用コンプレッサ製造会社)は、レグニツァ経済特別区から、同社のポウコヴィツェにある工場拡張のための新規投資の許可を得た。事業費は1億2,850万ズロチで、雇用者数は40人

増加し、513人になる。同工場で生産されているコンプレッサはフォルクスワーゲン社、オペル社、フォード社、マクラレン社、アストン・マーティン社に納品されている。欧州のコンプレッサ市場におけるサンデン社のシェアは40%超で、レグニツァ経済特別区で更なる投資も検討している。

2012年欧州の魅力的な投資先でワルシャワが2位に【8日】

CBリチャード・エリス社が行った調査(カンヌで開催中のMIPIM不動産フェアの中で発表)によると、2012年欧州で魅力的な不動産投資先として、ワルシャワがロンドンに次ぐ第2位のランキングとなった。同調査は、CBリチャード・エリス社が世界の主要な不動産投資家340人を対象に行ったもの。同社ワルシャワ事務所マネージングディレクターのヴァデル氏は、ポーランドは経済危機に耐えうるとして、投資家のワルシャワに対する関心が高まっていると指摘。

ポーランド国債の販売が依然好調【8日】

8日、ポーランドの5年物国債の販売が行われ、当初オファーを上回る多くの需要を引きつけた。国債は41億ズロチ相当が入札にかけられ、需要は約2倍と1月と2月に行われた入札と近似した。昨日売られた国債の利回りは4.837%と前回の入札より相当低く(2月は5.02, 1月は5.246%), 過去6年間で最低の率となった。また、財務省が14日に行った2年物国債の販売にも多くの需要があり、40億ズロチ相当の国債に対し、需要は71.5億ズロチにのぼり、利回りは4.535%とこちらも過去6年間で最低の水準。ラジヴィウ財務次官は、ポーランドは既に今年必要な借入額の47%の借入れを完了しており、今後、比較的高いGDP成長率を伴った改革の実施が実現すれば、ポーランドの長期国債の格付けも上方修正される可能性もあるとコメント。

ベルカ中央銀行総裁の政策金利据置に関する発言【9日】

9日、ベルカ中央銀行総裁は、金融政策委員会が金利の据え置きを決定したこと(7日)に関し、「金利は昨年よりは高いが、相対的には低い水準にあり、金利を更に引き下げた場合、経済成長が促されたとしても、インフレも促進される。現在のインフレ率は、中央銀行の目標値を上回っているが、ズロチ高により次第に抑制されていくだろう」と発言。

ポーランド、EUの新たな排出削減目標を拒否【9日】

ポーランドは9日にブリュッセルで開催されたEU

環境相理事会において、デンマークの提案による新たなCO2排出削減目標(2030年に1990年比40%、2040年に同60%、2050年に同80%削減)に拒否権を発動。経済の大部分を石炭に依存しているポーランドにとっては、新たな排出削減目標が経済にとり重荷となること、また、欧州危機の観点から非現実的であるとして反対している。

原子力コミッショナー、原子力発電所は最高の安全基準に則して建設されると発言【11日】

トロヤノフスカ経済省次官・原子力コミッショナーは、「ポーランドの原子力発電所は、原子力及び放射性物質防護に関する、最も厳しい要求水準に則して建設される」と発言した。同次官は、「原子力関連施設については、とりわけ安全性に最高の注意を払っている」と述べ、「新たな規則は、福島原子力発電所事故の教訓も考慮に入れ、IAEAの最新の助言に則したものとなるよう検討している」と強調した。

大規模店舗の進出と小規模店舗の苦境【12日】

ポーランド国内に420店舗近くのハイパーマーケット及びスーパーマーケットを抱えるテスコが、更に国内600の都市に2,000近くの店舗を出店することを検討している。その他の大型チェーンストアもポーランドでのビジネス拡大を検討している。ガゼタポルカ紙によれば、これらの影響で小規模店舗は厳しい状況に追い込まれており、中央統計局の調査では、2011年には4万件近くの小規模店舗が閉店している。また、こうした状況はウォルマートのポーランド進出により、一層悪化する可能性もあると指摘されている。

政府が「Go China」プログラムを開始【12日】

ポーランド政府は、4省庁(経済省、農業・農村開発省、スポーツ・観光省、外務省)及び4つの政府系機関(海外投資情報庁(PAIIIZ)、企業開発庁、農業市場庁、ポーランド観光局)が関与する形で、中国との貿易促進、中国からの投資促進、企業間協力の拡大を目的とした「Go China」プログラムを立ち上げた。パウラク副首相兼経済相は同プログラムの立ち上げの記者会見において、中国企業は政治レベルでのシグナルを探しており、最も高い政府レベルの関与は明らかなインセンティブとなる旨述べ、4月に予定されている温家宝首相のポーランド訪問が極めて重要であることを強調した。更に、昨年12月のコモロフスキ大統領の訪中後間もなく温家宝首相がポーランドを訪問することは、中国との関係が経済及び政治の両面で具体的な段階に入ることを意味すると強調。

10年後にシヨパン・エアポート・シティが整備される

見通し【14日】

ポーランドで最初のエアポートシティとなるショパン・エアポート・シティが今後10年で整備される見通し。施設は22.5ヘクタールの広さで、事業費は約10億ズロチと見積もられている。同事業は空港周辺に、オフィス、ショッピングセンター、レクリエーション施設などを建設し、地域を近代的なエリアに改造する計画。国営のPorty Lotnicze社のディレクターであるマゼック氏は、現在数名の投資家やディベロッパーと協議中で、いずれも関心は高く、投資開始時に重要な契約が既に多数締結されているとコメント。

NGK社がディーゼル車排ガス浄化フィルター関連工場を新設【14日】

NGKセラミックスポーランド社がディーゼル車排ガス浄化用大型触媒「大型ハニセラム」の新工場建設を決定したと発表。さらに、同社の炭化ケイ素(SiC)製のディーゼル・パーティキュレート・フィルター(DPFs)の生産設備も増強する予定。新工場での生産は2014年1月に開始し、投資額は、2億4千万ズロチと見積もられている。2003年の操業開始依頼、NGK社は既にポーランドで9億6千万ズロチを投資している。

社 会**大統領夫人が日本大使館レセプションに出席【9日】**

9日、ワルシャワの日本大使館で開催された東日本大震災追悼・復興レセプションに、アンナ・コモロフスカ大統領夫人が出席。大統領夫人は、同レセプシ

ョンでスピーチを行い、「日本はポーランド人の心と共にあり、いかなる時も両国は友情の強い絆で結ばれている」と述べた。

大使館からのお知らせ**平成24年度分教科書の配付について**

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年3月31日(土)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事**〔予定〕第1回将棋大会【3月17日(土)】**

当館広報文化センターにて、第1回将棋大会が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕日本映画「カルテット！」ポーランド初上映【3月20日(火)】

当館広報文化センターにて、日本映画「カルテット！」がポーランドで初めて上映されます。映画の解説は公式サイト(<http://quartet-movie.jp/>)をご参照下さい。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕「和の祈り」コンサート【3月28日(水)・29日(木)・31日(土)】

ポーランド室内合唱団主催により、ウヅジ(3月28日)、ワルシャワ(3月29日)及びグダンスク(3月31日)にて、日本の若手の合唱団を招待しての「和の祈り」コンサートが開催されます。コンサートでは、広島原子爆弾投下の犠牲者に捧げるため、多くの日本の歌が唱われます。

問合せ先：ポーランド室内合唱団(住所：Opata Jacka Rybickiego, Gdansk-Oliwa, 電話：58 552 41 73, Eメール：info@polskichorkameralny.pl, ホームページ：<http://www.polskichorkameralny.pl>)

開催場所：

3月28日 ウヅジ市博物館(住所：Ogrodowa 15, Lodz, 電話：42 254 90 52)

3月29日 ショパン音楽大学(住所：Okolnik 2, Warszawa, 電話：22 827 72 41, Eメール：info@chopin.edu.pl)

3月31日 アルトゥス邸(住所：Dlugi Targ 43/44, Gdansk, 電話：58 552 41 73)

〔予定〕第12回ポーランド小松流空手選手権大会【3月31日(土)】

守礼の門団体主催により、ウヅジにて、第12回ポーランド小松流空手選手権大会が開催されます。空手大会の他、着物・書道・人形展、折紙・書道ワークショップ等、日本文化に関する様々なイベントが予定されています。

問合せ先：守礼の門団体(住所：Al. Kopcinskiego 41/18, Lodz, 電話：48 601 25 06 02, Eメール：a.matlinski@wimat.com.pl, ホームページ：<http://emce2.pl/domeny/emce2.pl/sureinomon/>)

開催場所：M O S I R スポーツホール(住所：Skorupki 21, Lodz)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@emb-japan.pl

(ご連絡は電子メールでお願いします。)